

GBS (B群溶連菌)

**Q** 健診でGBS検査を行ったところ、陽性であることがわかりました。赤ちゃんへの影響など心配です

妊娠35週の健診時に行った検査で「GBS陽性」と言われました。初めての妊娠でここまで経過が順調だったのに、突然不安に！ 普通分娩で産めるのでしょうか？ 赤ちゃんに何か影響が出ることはないのでしょうか？

**A** GBSは常在菌で、妊娠していない時期は何も悪さをしません。ごく稀ですが分娩時に赤ちゃんが産道感染すると、髄膜炎や敗血症などを引き起こすことも



教えてくれたのは  
福田病院 理事長 福田 桐さん

出ても、妊娠中に投薬治療が行われることもありませんが、保菌者の1%程度の割合で、赤ちゃんが産道感染する可能性があります。そうなること、

出ても、妊娠中に投薬治療が行われることもありませんが、保菌者の1%程度の割合で、赤ちゃんが産道感染する可能性があります。そうなること、

分娩時に感染を予防することが大事。そのため抗生剤を点滴して臨みます

GBSが陽性だからという理由だけで、帝王切開になるといふことはありませ

りません。幸いこの菌には抗生物質が有効で、抗生剤を点

滴などで投与すると菌はすぐに消えてくれます。しかし、抗生物質の有効期間は短いため、その効果が薄れるとすぐに菌が出現してしまいます。

お産の進行が早い場合は、十分に抗生物質の効果が発揮される前に赤ちゃんが産道を通ることになります。それでも赤ちゃんへの感染は少ないとされ、問題は少ないよう

ですが、念のため赤ちゃんを新生児室で厳重に観察しています。

当院では、陣痛が起

き

ママの「？」を募集

妊娠・出産・赤ちゃんに関する質問を募集中。産婦人科の医師に聞いてみたい内容、名前(匿名の場合はペンネームも)、年齢、住所、電話番号を書いて、〒860-8511 熊本リビング新聞社「プレママ」係 ※すべてが採用されるわけではありません。応募者の個人情報紙面製作でのみ使用されます。

GBS (B群溶連菌)は、臍や肛門に常在する菌の一種で、全妊婦さんの10〜30%から検出されます。

妊娠していない時期は何も悪さをしませんし、感染してもつらい症状などはありません。また、GBSが陽性と